

## [夷隅感染症情報]（2019年度 第5報）

2019年 第30週～ 第33週（7/22 ～ 8/18）

### <トピックス>

- ① 管内では、30週に結核発生が1件、33週に百日咳が1件発生し、届出があった。

**9月24日(火曜日) ～ 9月30日(月曜日) は 結核予防週間です**  
結核は日本の重大な感染症です。今でも1日に46人の新しい患者が発生し、6名が命を落としています。  
風邪様の症状が2週間以上続く場合は、早めに受診しましょう。

- ② 千葉県では、32週に腸管出血性大腸菌感染症の届出が3例あり、2019年の累計は66例となった。この内2例は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症している。

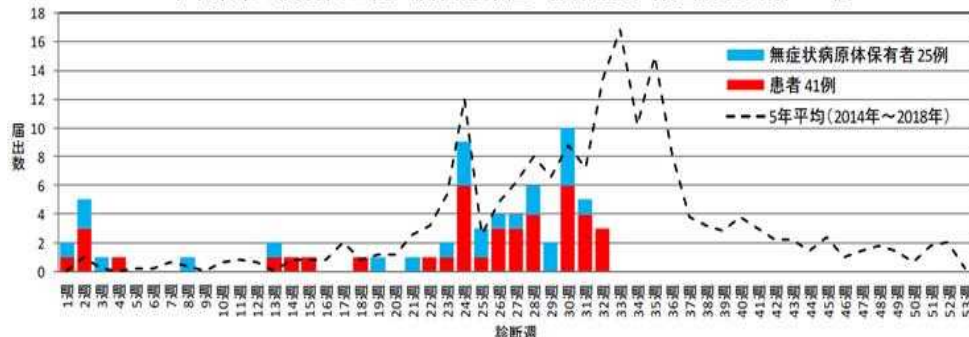
例年8月は、腸管出血性大腸菌感染症の届出が最も多くなる時期であり、食品の衛生対策、発生時の二次感染防止対策の徹底を図る必要がある。気温が高くなるこの季節は、細菌の活動が活発になり、腸管出血性大腸菌感染症を含め、細菌を原因とする食中毒が多く発生する季節である。千葉県は食中毒の予防対策を徹底するよう注意喚起するため、

6月1日に「食中毒注意報」を発令、さらに食中毒が多発しやすい気象条件となったため、7月29日には「食中毒警報」を発令した。

腸管出血性大腸菌感染症は無症状で終わる場合もあれば、HUSを続発して致命的となるなど様々な病態をとるが、典型例では3～5日の潜伏期において、激しい腹痛をとまなう頻回の水様便の後に血便がでる。また37～38℃台の熱や嘔吐を伴うこともある。

汚染食品からの感染に加えて糞口感染によるヒトからヒトへの二次感染にも注意が必要である。手洗いの励行といった基本的な衛生対策、食品の調理時における野菜類の十分な洗浄、肉類の十分な加熱や既知の感染リスクである生肉の喫食を避ける、調理器具類の洗浄、殺菌など交差汚染に対する注意が腸管出血性大腸菌感染症の感染予防に重要である。

2019年千葉県の腸管出血性大腸菌感染症 診断週別・類型別届出数 66例



千葉県衛生指導課: 食中毒警報の発令(令和元年度)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eishi/shokuchuudoku/keihou-r01.html>

### ③ 輸入感染症(チクングニア熱・デング熱・レプトスピラ症)について

2019年第33週に県内医療機関からチクングニア熱1例、デング熱1例、レプトスピラ症1例の届出があった。潜伏期間を考慮すると、いずれも海外渡航先(推定感染地域:チクングニア熱(ミャンマー)、デング熱(カンボジア)、レプトスピラ症(ラオス))での感染と考えられる輸入例である。

海外からの帰国後は、しばらく自身の体調変化に十分留意し、何らかの症状が出現した場合は、必ず事前に医療機関に電話連絡で渡航歴や症状について伝え、医療機関の指示に従った受診が重要です。

チクングニア熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどのヤブカによって媒介されるチクングニアウイルスによる発疹性熱性疾患である。通常の接触によるヒト-ヒトの直接の感染はない。アフリカ、米州、南アジア、東南アジア、インド洋や太平洋の島嶼国で発生が見られる。潜伏期間は典型例では3~7日(範囲:1~12日)であり、突然の高熱出現と関節痛を特徴とする。関節痛は通常両側対称性で、手首、足首や指趾などに出現し、数週間から数カ月にわたって続くことがある。発疹は通常発熱後に出現する。その他の症状としては頭痛、倦怠感、悪心や結膜炎などがあり、重症例では脳炎といった神経症状、心筋炎、急性腎炎や劇症肝炎などの合併症が報告されている。

デング熱は、チクングニア熱同様ネッタイシマカやヒトスジシマカなどのヤブカによって媒介される発疹性熱性疾患であり、熱帯・亜熱帯地域の多くで発生が認められている。チクングニア熱よりも推計される無症候感染の割合は高い。2019年に県内医療機関から届け出られたデング熱は累計17例となっており、昨年1年間の8例を既に上回っている。輸入症例としてのデング熱の届出は、渡航先のデング熱の流行の程度や、渡航者数により影響を受けると推察されるが、2018~2019年に届け出られた25例の感染推定地域はカンボジア(5例)、インドネシア(4例)、フィリピン(3例)、タイ(3例)等となっている(表)。潜伏期間は典型的には3~7日であり、突然の高熱とともに発症する。発熱のほか、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴うことが多く、発疹が発症後3~4日後に出現する。発症者のおよそ5%が出血やショック症状を伴う重症型のデング出血熱となり、全身管理が必要になることもある。不安や興奮状態となり、腹痛、嘔吐(24時間で3回以上)、鼻出血、吐血や血便といった重症化のサインは熱が下がって24~48時間後に現れることが多いとされている。

レプトスピラ症は、2006年以降に県内の医療機関から7例が届け出られており、2例は東南アジアへの渡航歴のある症例、5例は推定感染地域が県内の症例であった。レプトスピラ症の感染経路として、原因となるレプトスピラ属菌の保菌動物の尿で汚染された環境での曝露、また動物の尿や血液への直接接触などがあげられ、野生動物含め、ペットの犬など様々な動物が保菌動物となりうる。レプトスピラ症の症状は急性熱性疾患で、3~14日の潜伏期間ののち、突然の悪寒、発熱で発症する。感冒様の軽症型から、黄疸、出血、腎不全を伴う重症型(ワイル病)までその臨床症状は多彩である。感染契機として河川等の淡水域での遊泳やレジャー活動や農作業の他、飲食店等の食品を取り扱う施設は保菌動物のネズミの誘因施設となるため注意が必要である。また、海外の東南アジア等の流行地では台風や季節的な大雨による洪水の後に大規模なレプトスピラ症の発生がみられ、国内でも台風後の感染の報告がある。実際に県内医療機関から届け出られた7例のうち、輸入例と推察される2例も含めて6例が8月(3例)もしくは9月(3例)の発病であった。台風や大雨による洪水の後には不用意に水に入ることを避け、どうしても農作業(水路等の清掃等)や河川での作業が必要な場合は、ゴム手袋とゴム長靴を着用し、皮膚と感染源との物理的接触を最小限にすることが重要である。

#### <参考・引用>

国立感染症研究所:チクングニア熱とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/437-chikungunya-intro.html>

国立感染症研究所:デング熱とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/238-dengue-info.html>

CDC:Yellow Book 2020;Chikungunya

<https://wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2020/travel-related-infectiousdiseases/chikungunya>

● 管内の全数把握感染症情報 ●

< 類別・疾患別集計表 >

区 分	30-33 週	累計 (2019 年 発生分)
1 類感染症	0	0
2 類感染症		
結 核	1	5
3 類感染症	0	0
4 類感染症	0	3 (つつが虫病)
5 類感染症	0 0 1	1 (風しん) 1 (劇症型溶血性レンサ球菌感染症) 13 (百日咳)

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	1 週～ 33 週の 累計	直近 5 週の届出数				
		29 週	30 週	31 週	32 週	33 週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	1393	0	0	0	0	0
2 RS ウイルス感染症	12	0	1	0	0	1
3 咽頭結膜熱	9	0	0	0	0	0
4 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	114	4	3	5	2	2
5 感染性胃腸炎	51	0	2	2	0	2
6 水痘	6	0	0	0	0	0
7 手足口病	62	7	17	12	6	0
8 伝染性紅斑	23	1	0	0	0	0
9 突発性発しん	7	0	0	0	1	0
10 ヘルパンギーナ	42	2	6	16	2	1
11 流行性耳下腺炎	5	0	1	0	0	0

< 参考 >

夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

◆千葉県の感染症情報 千葉県感染症情報センター（千葉県衛生研究所感染症学研究室内）

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

◆厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

### 感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

#### 【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

#### 【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。

お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

\*\*\*\*\*

<配信元>

千葉県夷隅健康福祉センター（夷隅保健所）

【お問い合わせ先】

[isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp)

\*\*\*\*\*